

1 グループ

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
みどりを育てる人がいる	1. 活動の価値や楽しさを伝え、進んで参加してもらえるようにする ・ 緑を育てることが楽しいとかポジティブなことだと広める（SNS とか） 2. 社会全体でみどりを育てる文化をつくる ・ 近所の学校の生徒さんに a やらせる ・ ボランティアで募集をかける ・ 小学校などの生徒が授業の一つとして木を育てる 3. みどりを育てることでお金になるような活動をつくる ・ 職業をつくる（皆がやりたい職にする） ・ 新しい職業を作る！！（ポスターで宣伝？高収入！） ・ みどりに関わった分だけお金がもらえる	・ 身近でみどりを育ててみる。家族や友達と一緒に育てて楽しさを学ぶ ・ 「みどり」に関わる仕事をしている方々について、自主的に調べ、理解を深める ・ みどりを育てる。グループみたいなのをつくって育てることを日常化する ・ 植林等のイベントに参加する ・ 植林のボランティアに参加する！ ・ ボランティアに参加する ・ 植物に関するボランティアに積極的に参加する	栽培や森林ボランティアについて調べる・学ぶ
地面が熱くならないように工夫されている日陰が多い	1. さまざまな場所にみどりを植え、木陰を増やす ・ 何もない所に木を植える ・ マンションやお家を建てる時に一定の木々も一緒に植える ・ 街路樹を増やす ・ 歩道に向かって街灯と同じくらい木を植える ・ 家の屋上などに木をはやす 2. 地面の素材を工夫し、熱の上昇を抑える ・ 東京マラソンの時のような特殊加工されたアスファルトを増やす！！ ・ 熱が伝わりにくい性質があるものを地面に使う 3. 新しい製品を開発し、未来の選択肢を広げる ・ 製品を開発する ・ コンクリートよりも車が走りやすく、熱くなりにくい素材を見つける！！	・ 打ち水をする ・ 日傘を使う（通行人の傘の陰で熱くしない） ・ 休憩スポットをつくる ・ 自分の家の周りからまずみどりを植える ・ 自分の家の近くから緑を増やす取り組みをする！！（呼びかけ、イベント） ・ 木を植える活動に参加する ・ 自分の家の周りに木を植える ・ 木を植える！家の屋上やベランダなど！広葉樹を植える	打ち水をする
CO ₂ を排出する車を減らす	1. 環境に良い選択をしやすくするために、利用するハードルを下げる ・ CO₂を排出しない車を安くする（助成金） ・ CO₂の出ない乗り物を安くする ・ 電気自動車へのりかえるための助成金を出す（市や国） 2.インフラを整え、車以外の快適な移動手段の魅力を高める ・ 電気自動車をもっと普及させて、手に入れやすくする！ ・ 車以外の交通手段を普及させる ・ LUUP などのレンタル乗り物を増やし、乗り物の幅を広げる ・ 電気自動車が優先される道をつくる 3. 社会の仕組みとしてエコな交通を後押しする ・ 自動車の法律を増やし厳しくする	・ インスタとかをつかって電気自動車とかを色々な人に広める ・ なるべく公共交通機関をつかうようにする（徒歩、自転車） ・ 自動車でなくて一度でみんなが移動できる電車などを使う！ ・ 自転車などで行ける時は車でないものを使う ・ 日常的に自転車を使う ・ 車を使うことを減らす	なるべく車以外を使う

2 グループ

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
まちのさまざまな 場所でリサイクル できる	1. リサイクルできる場所や機会を増やし、誰もが参加しやすくする - リサイクルのためのゴミ箱をリサイクルされたプラスチックなどでつくり多くの場所に設置する - リサイクルゴミ箱をたくさん設置する - 学校でいらなくなった物を集める 2. ポスターなどを使ってリサイクルへの意識を高め、正しい知識を広める - リサイクルボックスにゴミを入れない習慣をつくる（ごみを入れている人をよく見るから） - ゴミをリサイクルしてくれというチラシをリサイクルさせる - リサイクルのポスターをつくるにあたってポスターのコンテストを開催する - ポスターをつくって学校で貼る。リサイクルできる場所も記載する 3. リサイクルする楽しさやメリットを伝え、行動する意欲を高める - リサイクルをした人が何かもらえる（モチベーション）	- 分別する - 名前を変える：「もえるゴミ」→「もやししかないゴミ」 - ペットボトルだけでもリサイクルしてみる - 委員会や自分たちで開催やポスターをつくる	正しく分別をしてみる （リサイクルがしやすいように） 燃えるゴミ、燃えないゴミを今日から分別してゴミに捨てる。できるのであればプラスチック・紙などリサイクルできるものも分別できるように
生ごみを肥料に変えて作物を作っている	1. 身近な場所に、生ごみを肥料に変えられるスポットをつくる - 生ごみ肥料を作るための場をつくる - ゴミ収集所ごとに肥料に変えるところを作る - 学校や家で植木鉢に生ゴミを入れ肥料にする - スーパーの前とかに BOX を置いてみる 2. 活動を宣伝し、参加する人を増やす - SNS での宣伝	- 家庭菜園などがあれば生ごみを肥料にしてみる - 家の植木鉢で肥料を作りその肥料で野菜を作り、その野菜を自分の家で消費する - 肥料を使って野菜を育ててみる - 生ゴミはきちんと水切りをしてからコンポストに入れる（捨てる）	水を切ってからゴミを捨てることで匂いを防ぐ
地面・道路が熱くならない工夫がされている	1. 自然の力を活用し、まちの暑さを和らげる - 木により陰をつくる 2. 木が生み出す資源をうまく使って循環させる - その木からの落ち葉を肥料にする	- 落ち葉を拾うボランティアに参加する - 木をたくさん植えて日かげを作る - 実の窓などにグリーンカーテンをつける - 熱くなりにくい素材を調べて、作っている企業に伝える	道路に打ち水

3 グループ

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
グリーンカーテン で涼しく快適	1. さまざまな場所に植物を増やし、自然の日陰をつくる - 木で日光をさえぎる - 植木や芝生などとりあえず植物を増やす 2. グリーンカーテンの利用を広める - グリーンカーテンの設置を区の施設で義務化する - グリーンカーテンの設置に応じて補助金を出す 3. 講座や SNS などを通じて、設置やメンテナンスの方法を広く知らせる - グリーンカーテンの設置・維持についてのやり方を知ってもらったり、制度を整える（講座 SNS などを用いて）	- 環境についての知識を持っておき、企業や行政が動いたとき、積極的に関わっていく - グリーンカーテンの設置を学校に提案する - グリーンカーテンのメリットを広く知ってもらう - 木を植える - 植物を植える - 自分で実際に実験してみて結果を共有する	簡単な植物から育ててみる
余ったエネルギー をうまく活用している	1. 区民のエネルギー使用状況に応じて、エネルギーのバランスを管理する - 発電量を増やして区民の需要を把握する 2. 蓄電池の活用を広げ、家庭で余ったエネルギーを地域で共有する仕組みをつくる - 蓄電池を活用して電気をためておくことを増やす - 各家庭で余ったエネルギーを区民施設などで渡す。代わりに太陽光パネル設置時に助成金がもらえるようにする - 余ったエネルギーを何かに使うだけでなく、ためられるようにする 3. ごみ処理場の熱など、これまでムダにしていたエネルギーを再利用する - ごみ処理場のとなりにサウナをつけるとか	- 水を浄化し、飲水→風呂→洗濯→という感じで使ってみる - 太陽光パネルの設置 - 余ったエネルギーで動いている施設に積極的に行く	太陽光パネルのメリット・デメリットについての知識をつける
ごみを出さずに食べ物や飲み物を購入できる	1. 容器をリユース・リサイクル可能な素材に統一し、回収する仕組みをつくる - リサイクル（リユース）可能な容器で売る食べ物を増やす - 容器などを全て再利用リサイクル可能なものに変える - 衛生環境をととのえる - パッケージやペットボトルの素材をリサイクルできるものに統一しリサイクル BOX を街の各所に設置する - 雨の日のビニール傘の設置をやめる 2. マイボトルやマイ容器の利用を進めるための新しい販売方法を取り入れる - 自動販売機をドリンクバー的なものに変えてみる（マイボトルの人専用） - おしゃれな水筒を開発（ファッションにもなる） 3. 容器そのものをなくす、新しい食のスタイルを提案する - 容器も食べられる - 見た目と味を考えたいなら、カプセルで済ます	- ペットボトル飲料の購入を避ける - 食べ物や飲み物を買わない - 水筒を持ち歩く（周りの人にも薦める） - 携帯しやすいマイボトルのデザインを企業に提案する	水筒を常時携帯する

4 グループ

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
グリーンカーテンで涼しく快適 屋上で野菜をつくっている	1. 屋上や空き地を活用してまちの緑化と食料生産を進め、地域で循環させる ・ 野菜を育てる為の土地を貸し出してもらう（行政に） ・ 環境整備 ・ 屋上に畑をつくる ・ 「屋上に畑」を条例化 ・ 屋上で育てた野菜を給食に入れる取組みをする ・ 家庭菜園（？）をつくる ・ 小・中学校のフィールドワークで緑を増やす 2. 再生可能エネルギーと電気自動車を広めて、エネルギーを自給自足できる社会を目指す ・ 電気自動車の普及 デメリット…バッテリーが少ない、地面からエネルギーを供給できるようにする ・ ○○○発電→家庭ごとの自給自足 3. 情報発信やデジタル化を通じて市民の環境意識を高め、ごみを減らす ・ 環境を悪くしている自覚を持たせる→日経電子版を無料化する ・ 廃棄物を減らすために電子機器（できることは無限）を活用する→エネルギー消費削減より再生可能エネルギーを増やす	・ いろんな発電方法を学ぶ ・ 工学を学ぶ ・ 学校の授業で取り組めることを話し合い実践 ・ 夏休みに学校のワークショップで夏野菜を育てる ・ 現在の環境問題について学ぶ ・ 個人又は家族でガーデニングに取り組む	個人又は家族でガーデニングに取り組む
公共空間に芝生・シンボルツリー・植物がある みどりを育てる人がいる	1. コンクリートを減らし、公園や室内などさまざまな空間を緑化する ・ 植林 ・ コンクリートを減らして公園とかに芝生をうえる ・ 室内でも森林をつくっちゃう ・ シンボルツリーを植えるプロジェクトを実行する 2. 家庭や学校を巻き込み、社会全体でみどりを育てる大きなムーブメントをつくる ・ みどりを育てる BIG WAVE をつくる ・ 家庭菜園（？）をつくる ・ 小・中学校のフィールドワークで緑を増やす 3. みどりを育てる人が長く続けられる体制を整える ・ みどりを育てる人に対して相当のサポートをする ・ みどりを育てる人を雇い、お世話してもらう	・ シンボルツリープロジェクトに参加して活動をお手伝い ・ みどりを増やす区などのイベントに参加する ・ 現在行われている環境保全プロジェクトに積極的に参加する ・ 植林＝楽しいという認識を持てるように子供向けフィールドワークを開催する（いこいの森を使う） ・ SNS で活動を発信して広めている ・ 現在の環境問題について学ぶ ・ 個人又は家族でガーデニングに取り組む ・ ワークショップや話し合いの場に参加して意見交換をする	みどりを守る意識を一人一人が持つ

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
生ゴミを肥料に変えて作物をつくっている デジタルデバイスなどの活用で紙ごみが出ない	1. コンポストや分別回収を通じて、生ごみを資源として活用することを当たり前にする - コンポスターを1家族1個持っている - ゴミ箱を設置する 2. デジタル化により、紙ごみが出ない社会の仕組みをつくる - 学校でノートを持っていなくてもOKな仕組みをつくる - 電子機器の発達、更なる普及 3. 誰でもデジタルデバイスを活用できるよう、サポート体制をつくる - 年配の方でも分かりやすいインターネット設備 - デバイスを使いやすいようにWi-Fiを入れる - デジタルデバイスを貸し出す仕組みをつくる 4. 自然の力を活用し、環境への負担を減らす - 自然に分解されるものを増やす	- ゴミの分別を積極的に行う - インターネットの活用詳細をYouTubeで発信 - スマートフォン（インターネット・SNS）等を使用して自分で情報を集める（例 teams） - USBメモリー（連動して記録、火星とかにでっかいやつ）的なものを他の場所に保管 - 町の掲示板をデジタル化 - ワークショップや話し合いの場に参加して意見交換をする	家族に貢献することで生活力を上げる。それによりエコとの両立を考えるようにする。

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
ごみを出さずに食べものや飲み物を購入できる	1. マイ容器の持参や自炊など、ごみを減らすライフスタイルを当たり前にする ・ 普段から配られたプレートを持ち歩く ・ 弁当箱などを飲食店などに持って行って、それに入れてもらうことでゴミを出さずに済む ・ 飲み物は、ボトルを使うように促す。また、エコバッグの使用を呼びかける ・ 自炊を促す社会 2. 事業者と連携し、ごみが出ない販売方法や仕組みを広める ・ 農家や飲食の業者と連携をとる ・ 農家の直営を利用する ・ 何度でも使いまわせるような容器などに入れて販売する ・ 自動販売機の飲み物に使うプラスチックの量を減らしてくれるように区から呼びかける 3. 農業体験などを通じて、生産者と消費者の繋がりを深め、食やごみへの意識を高める ・ 農家の職業体験をやる	・ “自分で料理を作った”という写真を SNS にのせる。また、そのようなものにいいねをつける ・ 近所の農家さんの直営をお手伝いして、食材ごとにできる料理のレシピを紹介する ・ 出かける時は、エコバックおと水筒を持つように心がける ・ モノを買うときに、環境のために何かしらされている商品などをなるべく選ぶ ・ レジ袋の値段をもっと高くさせて、エコバックを使うように促す ・ いつでも水筒を持つ ・ 自分達でゴミがほとんど出ないものをつくって売る。また、自分でケースを持ってくると、安く買えるようにする ・ My 食器を持ち歩いてみる。(セットを作る) ・ 自分でごみを出さずに生活する日をつくる ・ 水筒や弁当箱をアレンジして、みんなに広めて、もっと使いたいと思ってもらえるようにしてもらう ・ パンなどを買うときにケースを持ち歩いて、そこに入れてもらう ・ マイボトルを外出する時に持つようにする	My ボトル、My バッグ、My 食器
CO ₂ を排出しない乗り物しかない	1. 太陽光発電や自動運転など、CO₂を排出しない未来のモビリティの技術開発を進める ・ 自動車に太陽光発電機を設置して、その電気で車を走らせられるような車をつくる ・ CO₂を排出しない飛行機をつくる。また、自動式で再生可能エネルギーを使ったタクシーをつくる 2. 経済的メリットや情報の発信、充実した公共交通により、社会全体の変化を後押しする ・ どの自動車も排出ガスが出ないものが当たり前 ・ CO₂を排出する乗り物よりも排出しない乗り物がおトク ・ 電気自動車を普及させるために SNS や講演会を行い、CO₂削減を伝える ・ 公共交通機関が全ての移動手段を使う ・ 自転車を持っていない人に区から自転車を貸し出す 3. 誰にとっても快適で安心して移動できる、支え合いの仕組みをつくる ・ 障害を持っている人やお年寄りの人のために元気な人が車椅子などのエネルギーをつくる（自動車とか…） ・ 車椅子に乗って気軽に買い物できるようにする（なんか涼しいのがついているとよい？） ・ 高齢者の移動のためのサービス（自動車の後ろに大人でも入れるくらいの大きさのかごを付ける）	・ ポスターや冊子を漫画やイラストを入れて分かりやすくつくる ・ 移動が大変な人に付き添い、実際の移動を知る ・ お年寄りの声も聞く ・ 電気自動車の良さを広める ・ 電気自動車のメリット、デメリットを知る ・ 電気自動車の宣伝をもっと行う ・ 車のエネルギーをガソリンにしないで環境のいいエネルギー（まだないから生み出す？）を使う ・ 複数で乗れる自動車（？）をつくってみたい ・ 移送するときになるべく車を使わないようにする ・ 信号機の時間を歩く方が長くする（してもらう） ・ 人力車	メリットとデメリットを知る 歩いたり自転車を利用したりする（車を使わない）

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
みどりを育てる人 がいる	1. イベント開催や職場の緑化などを通じて、日常でみどりに触れる機会を増やす ・ 規模が大きいスーパーでも小さいスーパーでも植物の種を積極的に売る ・ 植物に触れる機会が増えるイベントをする（お祭り、ワークショップ） ・ 学校で植物を育てるイベントを開催する ・ 職場に緑を置く 2. 特典を用意したりメリットを発信したりして、みどりを育てる意欲を高める ・ 植物を植えた人たちに特典（商品券など）をプレゼントする ・ みどりがあることでどのようなメリットがあるかをたくさんの人に知らせる 3. ボランティアや清掃活動など、地域全体でみどりを守る仕組みをつくる ・ 家で育ちすぎた植物を利用できる ・ 定期的に公園などの緑をきれいにするボランティアを年齢を問わずに集める（いつ参加しても良い） ・ 区民全体が1年に1回近くの公園などの清掃することを義務づける	・ SNS を利用して緑の大切さを伝える（インスタ、TikTok。YouTube など） ・ 今ある植物の風景を撮って SNS など季節ごとに発信する ・ ゴミ拾いイベントなどに参加してみる ・ 緑を職場や学校などに配る ・ 苗木を植えられるスペースがあったら積極的に植えよう ・ 苗木などを植えている取組を応援する ・ 緑を活用した活動をする（ex 華道） ・ 公園などの植物を見る習慣をつける（生活とみどりが近づくように） ・ 学校の庭に、花を植えるボランティア活動 ・ 学校行事としてボランティアで学校内や、民間施設などに植物を植える ・ まずは自分達が家に緑を植える ・ 自分の家で1つでもいいから植物を育ててみる	観葉植物を自分の部屋に 置いてみる 月1で花を買う→華道を してみるなど

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
公共空間に木が多い	1. イベントやボランティア活動を通じて、地域みんなで植樹を進める ・ 植樹を地域全体で行う ・ 地域全体で活動に取り組む→ボランティア ・ 地域みんなでめっちゃ木を植えるイベントなんかをつくる ・ 木を中心とした、フェスを行う 2. 植樹のための場所を確保し、公共施設などでの緑化をルール化する ・ 駅前とかにスペースつくる ・ 公共施設に木をはやすルールを作る	・ 森づくりボランティア、植樹祭、海外での植樹ボランティア等 ・ 学校の行事で植樹を行う ・ 校内に新聞屋ポスターなどを掲示する ・ 学校の中で新聞などポスターをつくる ・ 学校とかで人に話したりする ・ 周りの人に伝えて一緒に考える ・ SNS で発信する ・ 有名人を呼んで一緒に木を植える	SNS で自然に対して発信をする
車より歩行者が優先される	1. 車道の幅を見直して歩道を広げ、道路を歩行者優先にする ・ 歩道を大きくする ・ 車道は最低限の広さにして、歩道を広く歩きやすくする ・ 自動車や歩行者が通れる歩道橋をつくる、立体交差化 2. 信号機の時間を調整して、歩行者が安全かつ快適に歩けるようにする ・ 歩道を大きく信号の間隔を変える ・ 信号機の歩行者の方が青が長くする 3. 自転車専用の道などをつくって、車以外の移動手段をより快適で安全にする ・ 自転車ネットワークをつくる！ ・ 自転車をみんなで使って気持ちは知る	・ 区のホームページから行政に訴えるマップを作る（問題点の） ・ 区長に手紙を送る ・ 自治体の集まりとかで訴える ・ メールを偉い人に送る ・ 国を動かす ・ 政治家になる	区長にメールを送る マップをつくる
木が多く、自然が豊かで日陰が多い	1. 道路や駐車場など、まちの様々な場所に植樹を義務づけて木陰を増やす ・ 街路樹を幹線通路に設置するのを義務づける ・ 屋外の駐車場（に木を植える） ・ まち並みに木をはやす→街路樹 ・ 歩道に木を植える ・ 歩道橋に木陰をつくる 2. 公園や広場を、ピクニックや運動、学習ができる魅力的な空間として整える ・ 公園に川とかランニングしやすい ・ ピクニックなどができる広場など ・ QR コードとかで「こういう植物があります」みたいなものしてる 3. 地域住民みんなでみどりを育てる仕組みをつくる ・ 街木をはやして近所の人で当番制でお世話をする	・ 近く環境や自然に興味や関心を持つ ・ 植樹をしている団体に参加する ・ 植樹のイベントに参加する ・ 木を大切にする ・ 木の図鑑を図書館にたくさん置く	植樹をしている団体に参加する

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
生ごみを肥料に変えて作物を作っている デジタルデバイスの利用で紙ごみが出ない	1. ごみを資源として活用する仕組みを社会に広める ・ お祭り会場、畑の前、ごみを出すところに、生ごみ専用回収ボックスを設置 ・ 助成金でコンポストを利用するハードルを下げる 2. デジタル技術を活用し、紙ごみを完全にゼロにする ・ スマホやパソコンを使う ・ 紙媒体を使わない ・ 電子機器をつかう ・ キャッシュレス決済 ・ 在庫管理のデジタル化	・ 生ごみなるべく出さないように、野菜とか皮まで使う方法を SNS で発信する ・ 生ごみを肥料にしている農家の人などはいるのか調べる ・ デジタルデバイスを活用しながら、生ごみを肥料にしている活動について調べる ・ 勉強時、ノートではなく iPad 等を使う ・ スマホなどをつかう ・ 私生活（勉強）から、電子機器を使ってペーパーレス ・ プリントやノートをデジタルに ・ デジタル機器をメモなどに使い、学校のノートなどを支給のタブレットで取るなど意識する ・ 食べ残しなし ・ 食材を余さず使う	勉強で使うノートやプリント等をデジタル機器で代用する 食べ残さない色々な活動を調べる
CO ₂ を排出しない 乗り物だけ 車より歩行者や自転車 が優先される	1. 歩行者や自転車が中心となるよう、道路やまちの構造を変える ・ 自転車専用の道路を作ったり、歩道をひろくする ・ 駐輪場を多く駐車場を少なくしてなるべく自動車で移動しにくい ・ 歩く ・ 歩くとポイントがつく ・ 歩道の信号を少し長くする ・ スクーター、セグウェイ専用道路 2. 自転車や公共交通機関など、多様でエコな移動手段の利用を促進する ・ 電車やバスで持ち運べる自転車 ・ 自転車にのる ・ 電車の賃金を下げる ・ スケボー等に乗る 3. 経済的なサポートを通じて、CO₂を排出しない車への転換を後押しする ・ 水素自動車や電気自動車を買う時に多くの助成金を出す	・ できるだけ歩いたり自転車を使ったりして移動する ・ 自転車にのる ・ 商店街などでスタンプラリーをする ・ 歩いてポイントを貯める活動をする ・ 自然のある場所（公園等）にアート作品を置く ・ 自転車専用の道を作った場所が、どんな条件でつくられたのか調べる ・ 意見箱の中に投票する ・ スタンプラリーの企画 ・ プリクラのスタンプラリー ・ スタンプラリーで環境にいい移動を促進 ・ 普段の移動を徒歩、自転車、電車を使う ・ なるべく歩いたり自転車に乗ったりするように呼び掛ける ・ カフェ巡りができるお散歩コースを考えて発信する ・ 移動した時のうれしいことをつくる ・ たべあるき ・ スマホの万歩計で期間中歩いたら、1 歩につき 1 円もらう	商店街などのでのスタンプラリーの企画などを区や商店街の人などの意見箱に入れる たべあるきやプリクラのスタンプラリー
みどりを育てる人がいる 公共空間に芝生シンボルツリー・植物が沢山ある(家と木の数が同じくらい)	1. 公園や駅前など、公共空間を緑化する ・ お花見スポットを公園に 1 つはつくる ・ 駅前など人が沢山集まる場所に植物をたくさん植える 2. 家庭や学校教育を通じて、一人ひとりがみどりを育て関わる文化をつくる ・ 家で一人一人が植物を育てる ・ 区と学校が協力して植物を植えるスペースをつくり、子どもたちが授業の一環で植物を植える 3. みどりの管理を専門的な仕事として確立し、働く人を増やす ・ 植物の専門家の仕事を広める ・ 区がみどりを管理する人を多く雇用する	・ インターネットで少し呼び掛ける ・ 学校の友達とか全員でとうこうする ・ 区で管理している花壇の植物に水やりをするなどをする団体に所属する ・ 中高生中心のみどりを育てる団体をつくる ・ 植物育てる ・ 自分の家の花壇とかに見立てて楽しくなるような木を植える ・ 少し植物を育てる ・ 家で好きな植物を育ててみる ・ 植林していたりする団体を調べてみたり参加してみる ・ みどりを育てる団体の参加を SNS で呼びかける ・ 植物などをつかって映えるスポットをつくる	植物を育てて映えスポットを作ってその場所を SNS で宣伝

8 グループ

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
CO ₂ を排出しない 乗り物しかない	1. 水素自動車や新しいエネルギーなど、未来の技術開発を推進する - 水素自動車などの開発 - 新しいエネルギーの開発・発見 2. 電気自動車などの価格を安くし、社会全体への普及を加速させる - 電気自動車の普及 - 電気自動車会社など CO₂を排出しない車の値段を安くする 3. 充電インフラや電動乗り物のシェアを増やし、誰もが利用しやすい環境を整える - 電気スタンドの数を増やす - LUUP などの乗り物を増やす	- 工学部へ進学する - ガソリン自動車がどれほどの CO₂を排出しているのか知ってもらう	CO ₂ を排出しない車をつくっている会社の株を買って応援する
まちのさまざまな ところでリサイクル できる	1. 回収場所や機会を増やし、誰もが気軽に参加できる環境をつくる - リサイクルボックスの普及 - まちのなかのさまざまな場所にリサイクルボックスを置く - 公共施設の入り口の見やすいところにリサイクルボックスを設置する - コンビニと同じ感覚でリサイクルするところに行ける - ごみの回収日みたいのリサイクルするものを回収する日をつくる 2. これまで捨てられていたものを資源として活用し、リサイクルできる対象を広げる - コンタクトを回収 - 牛乳パックをリサイクル - チョークの粉でチョーク - 古着買取 3. イベントやポイント制度などを通じて、リサイクルする楽しさやメリットを伝える - 設置したさまざまなリサイクルボックスを周るスタンプラリー - ポイ活ペットボトル	- ポイ活をみんなに知ってもらう - 古着屋を使う - リサイクルできるものを知る機会を作り、各家庭でリサイクル出来るものを集める	友達と古着屋でファッション対決をする ポイ活をする リサイクルできるように物を丁寧に扱う 極力プラスチックを使わない
グリーンカーテン で涼しく快適	1. 種を無料で配ったり販売場所を増やしたりして、誰もが気軽にグリーンカーテンを始められるようにする - 種をさまざまなところで売る - ヘチマなどの植物を植える - グリーンカーテンになる植物の種を無償で配布する 2. 家やビルの構造を工夫し、まち全体で設置しやすい環境を整える - まちの至るところに様々な種類の植物を植え、彩りを増やす - ビルだけではなく一般の家でもグリーンカーテンを設置しやすくする - グリーンカーテンをしやすくなるような家やビルを作る 3. 品種改良によって、より早く育ち効果の高い植物を開発する - 品種改良で早く育つ植物をつくる	- 育てやすいヘチマの品種改良を気楽に頼む - 公共施設などにグリーンカーテンを使う - 種を蒔いてグリーンカーテンを作る	季節に応じて育てやすい植物の事例を海外などからも学ぶ 植物を枯らさないようにがんばる

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
余ったエネルギーをうまく活用している	1. 再生可能エネルギーの活用を広げ、エネルギーの発電量を増やす - 公園の噴水に発電機をつけたり太陽光パネルをいっぱいつける - そもそもエネルギーの発電量を増やさないといけない 2. エネルギー消費を「見える化」し、一人ひとりの省エネ意識を高める - 使ったエネルギーの量に応じてどのくらいの燃料が使われたか、スマホのアプリなどでわかるようにし意識させる 3. エネルギーを効率的に使い、余った分を貯める技術を広める - エネルギーを使いすぎない（エコ・ためる）	- 今使っていない部屋はクーラーをつけないで、人が使うときだけエネルギーを使う - 使ってない家電製品の節電をして必要な時にエネルギーを使うようにする - お風呂やご飯などすぐに行動する - 自分の1日を観察し、今の生活で自分がどこにどれだけエネルギーを使っているのか調べてみる - まちを観察して、新たにエネルギーとして使用できるものがないか見つけてみる	節電する
生ごみを肥料に変えて作物をつくっている	1. ごみの分別を徹底し、生ごみを資源として回収する仕組みをつくる - プラ・紙・生など、ごみの種類を分ける - ごみの日に生ごみの日を作る - 地域で生ごみを回収する日をつくってそれをまとめたごみを肥料にする 2. 家庭や地域で生ごみを肥料化する文化を社会に普及させる - 生ごみを肥料にする仕組みをより普及させる必要がある - 家庭内でも自分で肥料をつくる	- ごみの分別 - ごみの分別 - 家でごみの分別をする - ごみを分けて再利用する（生ごみ→肥料、紙ごみ→紙、プラごみ→服・衣類） - 分別をしたり、家で育てている植物の肥料に使う - 生ごみを土に変える機械を、自分の家に置かなくても使えるように借りたり、共同で使えるスペースをつくる - ごみ1袋と何かが交換できる会を開く（ex.形が悪いなどで廃棄されてしまう野菜と交換など） - ごはんを残さないで美味しくたべる - ごはんを残さない	ごみの分別 ごはんを残さない
みどりの中でのんびり過ごせる	1. 緑豊かな空間をつくるために、場所を確保して植物の種類を増やす - いろんな植物を設置 - まちに人がのんびりできるスペースの植物が植わっている場所が必要（用地） - 植物をたくさん育てる 2. ベンチや机を設置し、人々が快適に過ごせる環境を整える - のんびり過ごせる環境をつくる（ex.ベンチ、つくえ） - ベンチを多く設置する	- ボランティア活動で植物（花）を植えたり、水をあげたりする - 植物をうえたところに人が来るようにSNSで広める - 自分たちで育てた植物とかを置けるスペースがあるといいかも - 道や公園にあるごみをまとめて集めて、再利用する - 公園でのごみを捨てるボランティア活動に参加する - ごみを捨てないで、きれいなのんびりできる環境をつくる - 公共の場でのんびりできるスペースを保てるよう、治安を保つ（ex.ごみ拾いなど）	グリーンボードに参加する

①実現したい未来像	②未来の杉並区を実現するために、まちや社会をどのように変えていく？	③まちや社会を変えていくために、自分たちができることは？	▶はじめの一步
ごみを出さずに食べ物や飲み物を購入できる	1. マイ容器を持参し、量り売りで購入する仕組みを広げる ・ 消費者は自分で容器を持参し、お菓子・ジュースなどをセルフでとれるようにして、取った分で金額が出されるようにする ・ 自分でマイ容器を持っていき食品を入れてもらう 2. 使い捨てプラスチック製品の使用を根本からなくす ・ プラスチックをほとんど使わない（皿やスプーン、フォーク、ペットボトル等）	・ マイボトルを持参 ・ 文化祭などでプラごみを必要以上に出さないようにする ・ ペットボトルを買わない（マイボトル）	お菓子を取る時に、ボンタンあめのような食べられる袋にお菓子をいれて、お菓子を食べる時ついでにその袋を食べる（その袋は他の人が触ることもないので、衛生的にも良い）
生ごみを肥料に変えて作物をつくっている	1. すべての人が生ごみを分別して、資源として回収できる仕組みをつくる ・ 生ごみを分別して捨てることを全員に強制する ・ まず生ごみを「もやすごみ」に出すのではなく、「生ごみ」と別に分け、ごみを出してもらう 2. 回収した生ごみを肥料にして、農業の現場へと届ける ・ 生ごみを肥料に変える仕組み・設備を確立する ・ 農業の仕事をしている人達にとどくようになっている 3. ポイント制度などを取り入れて、市民が楽しく協力できるしくみをつくる ・ 生ごみを肥料にしたらまちで使うポイントなどがもらえるようにする	・ 家で生ごみをなるべく出さない（ex.魚の骨を焼いてせんべいにする） ・ 家庭なら生ごみ分別しやすいから家庭の中から始める ・ 周りの人（友達）から広めていく	分別のやり方を SNS で発信する
そうじが自動化されてまちがキレイ	1. ロボットに頼る前に、ポイ捨てやごみそのものを減らす意識と仕組みをつくる ・ 掃除の手間を省くために、まずポイ捨てをしない ・ ごみのポイ捨てが起きないように町内で呼びかけをする ・ ごみをださない。出してもちゃんと処理されるように変わる必要がある 2. 再生可能エネルギーで動き、みんなに愛される掃除ロボットを導入する ・ ロボットを動かすエネルギーを再生可能エネルギーにするために太陽光パネルの設置数を増やす ・ デザイン性の高い（かわいい・愛着がある）ロボットを導入する 3. ロボット導入に必要なお金を、みんなの募金で集める ・ コストがかかるので、ロボットをつくるお金を募金で集める	・ ポイ捨てをしない。している友達がいたら注意する ・ ポイ捨てダメ ・ ポスターを掲示する	人を集めて募金活動をしてみる